

岡垣の教育 岡垣東中学校⑥

—創立から10周年ころまで—

岡垣歴史文化研究会 入江 東樹



薬師寺(奈良)。修学旅行(1987年4月21日)にて。第6期生卒業アルバムから援用

創立6年次(昭和61年度)の学校行事から、2つのことを紹介する。

4月20、22日、修学旅行で関西へ出掛けた。20日、新幹線で京都に向かい、二条城と比叡山の延暦寺を見学し、滋賀の大津で宿泊した。21日は京都に戻り、宇治平等院を見学し、奈良へ向かった。東大寺や春日大社、法隆寺、薬師

寺などを見学し、京都で宿泊した。23日は京都で、清水寺や金閣寺、映画村(東映太秦)を見学した。

「やはぎ」(校友会誌)第2号に、修学旅行の感想文が6人分紹介されている。その中から、那須緑さんの「薬師寺」を紹介する。

「薬師寺を見て、東塔と西塔が対照的だと思いました。東塔は古

めかしい感じだったが、西塔は華やかできれいでした。頂上の相輪に取り付けられた水煙の中には二十四体の飛天が透かし彫りにされているようです。説明書を見ると、素晴らしい透かし彫りだそうです。見えない所にも、細かい彫刻をして、すごい技術だと思いました。お坊さんから、薬師如来様が薬箱の上に座っていらっしゃるといふことを聞いて、びっくりしました。その薬箱にはギリシャの葡萄唐草文やインドの福神像、中国の四方四神、ペルシャの蓮華紋が彫られているそうです。その当時の文化の交流がうかがわれて驚きました。金堂には、我が国仏教美術の最高傑作といわれる薬師如来を安置しているそうです。薬師如来様は病苦から救い、災難を除くということ、昔の人たちはさぞ心強かったことでしょう。これからも、薬師寺を国宝として、大切にしていきたいです。また、昔の大工は技術が優れていて、見習わなければならぬことがいっぱいあるように思いました。」

た。本年度は2回目で、7月7、9日に行われた。「やはぎ」第2号に、3人の感想文が紹介されている。その中から、坂井憂一さんの「楽しかった思い出のキャンプ」を紹介する。

「楽しかったのは、自分たちで火を起こしての食事作りです。苦しかったのは、山登りです。朝、5時起床。とても冷えました。目的の久住山は、とても遠かったです。往復20キロなのです。自分があの山だと思っていたのが違って、かすかに見える山が久住山だと聞いたときは、遠いなあと思いました。がんばって登りました。頂上は、とても気持ち良かったです。登ってきた疲れが、吹っ飛びました。キャンプファイヤーも思い出として、残っています。「UFOが出たぞ」の踊りは僕たちの学校だけだろうと思っていたら、ほかの中学校も面白い踊りをしたので、良かったです。楽しい思い出ができたキャンプでした。」

※キャンプファイヤーは、中学校4校の合同だった

※2つの作文は、紙面の都合で一部省略した

【おわびと訂正】12月25日号に掲載した新岡垣風土記のタイトルに誤りがありました。おわびして、訂正します。

正：岡垣の教育 岡垣東中学校⑤ 誤：岡垣の教育 岡垣中学校⑤